

養老町まちづくりビジョン・後期テーマ別戦略(案)に対する

パブリックコメントの結果について

令和7年12月25日から令和8年1月23日まで、町窓口・HPなどで「養老町まちづくりビジョン・後期テーマ別戦略(案)」のパブリックコメントを行いました。パブリックコメントでいただいた質問・意見及び町の考え方(回答・対応)は、以下のとおりです。

No.	質問・意見	回答・対応
1	町歴史資料館の期間限定での開館と小中学校との連携による児童・生徒の町の歴史の学習機会の創設を提案します。また、山口俊郎記念館とYOROfficeの2施設一元管理により地域交流を図ることができるのではないかと。	本町の歴史・文化資源は、地域への誇りの醸成や交流人口の拡大に資する重要な資源であると認識しています。ご提案いただいた公開機会の拡充や教育機関との連携、複数の施設の連携による地域交流は、施設の魅力発信や学びの機会の充実に有効な視点と考えます。一方で、施設の維持管理や運営体制には人員・財政面の制約もあることから、具体の手法については費用対効果や運営可能性を踏まえ、段階的に検討してまいります。 いただいたご提案は、今後の事業推進・施設運営の検討における参考とさせていただきます。
2	「協働」の表現により行政と住民の役割分担・責任が曖昧となっていないかと。	養老町まちづくりビジョン・前期テーマ別戦略では、行政だけでなく多様な主体との連携・協働を重視してきました。人口減少・少子高齢化が進行するなか、町と地域が課題を共有し、一緒に協議することで、一つひとつ課題を解決していくことが重要であると考えております。
3	PDCAが回っていないのではないかと。	基本目標ごとに成果指標、施策ごとにKPIを設定し、達成状況の確認と要因分析を行ったうえで、施策の重点化、事業手法や実施体制の見直しを行い、次年度以降の取組に反映しておりますが、ご指摘も踏まえ、更なる議論を深めてまいります。

No.	質問・意見	回答・対応
4	人口ビジョンの掲載は必要ないのではないか。養老町の特徴を精査した人口の将来目標とすべきではないか。	本計画は、今回お示しした「養老町まちづくりビジョン・後期テーマ別戦略」と今後お示しする「第3期まち・ひと・しごと創生養老町総合戦略」を一体的に策定しているところであり、その前提となる人口の見通し・将来目標(人口ビジョン)を合わせて示す構成としています。
5	産業振興による雇用の創出が一番になるべきテーマ・課題ではないか。	産業振興・企業立地支援・雇用促進は、計画体系の中(戦略9:多様な産業が活発なまち)でも位置付けており、引き続き重要課題として取り組んでまいります。
6	「地域間・国際交流」は「未来を担う人づくり」に該当するのではないか。近隣市町村への来訪者を養老町へ誘導する秘策を考案すべきではないか。「地域自治町民会議」の設立・役割の目標値を設定するなど、明確にする必要がある。教育現場で行われている文化活動をICTの活用により、ライブ配信してはどうか。	多くのご意見や提言を踏まえ、今後の施策展開や取組み、KPIの設定の検討における参考とさせていただきます。
7	平時は交流拠点、災害時は備蓄・避難の機能を兼ねる施設、行政手続と交流が一体となった場、学童・学びの場、若者の就労機会づくり等を組み合わせた「世代を超えて利用できるコミュニティ拠点」の創設。	人口減少対策は町全体に関わる重要課題であり、子育て世代の定着や、多世代がつながる場づくり、防災面の安心確保は重要な視点と認識しています。ご提案のような複合的な機能を持つ拠点は、利便性向上や交流促進、災害時の安心につながる可能性があると考えます。一方で、具体の施設整備(新設・改修・機能追加)については、既存施設の活用可能性、立地、運営体制、財政負担等を踏まえ、段階的に検討する必要があります。 いただいたご提案は、今後の公共施設の利活用や子育て支援、防災の取組みの検討における参考とします。